

Makuhari's Memory

『協働』の学びと『合意形成』の実践

令和8年6月29日～7月3日の5日間、協働による地域づくり研修に、北海道から沖縄まで総勢60名の仲間とともに参加しました。優秀な職員が多数参加される中で、代表幹事のご指名に心より喜びを感じ、自分自身が一生懸命勉強すること、そして仲間全員が少しでも楽しく過ごせることを肝に銘じ、副幹事のお二人のお力をお借りして何とか大役を務め上げることができました。

講義で印象に残ったのは、櫻井講師による「協働の意味と行政の役割」です。行政が変わらなければ地域は変わらないという視点が強く心に残りました。また、行政は地域の力を借りないと解決できない課題が多く、「協働」は住民の関心の中心というより、行政が成果を生むための手段だという理解が深まりました。加えて、原田講師（元長崎市職員）をはじめ、全ての講師の講義を通じて、行政職員として大切にすべきことを学ぶことができました。

一番衝撃を受けたのは、初日の夜の幹事・座長の打ち合わせで、研修所恒例であろう「夜の懇親会」に関して、課題発表用資料作成を最優先とした中止の提案があった

ことです。ご提案いただいた座長の判断も踏まえ、各班での懇親会実施へと変わったことで、チームワークを高め、発表内容も充実させることができました。私は、これはまさに合意形成の実践であったと考え、勇気ある提案をいただいた座長と、ご了承いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

結びに、本研修に携わった講師の先生方、市町村アカデミーの皆様に心から感謝申し上げますとともに、全国から集まった研修生の皆様のさらなるご活躍を祈念申し上げます。

山際 進一

福岡県直方市
総合政策部防災・地域安全課
地域支援係参事補
〈受講科目名〉
協働による地域づくり
第40期第1組（令和8年度）

